



加茂川で元気に泳ぐコイノボリ (4月15日)

主な内容

- 第46回 雪椿まつり開催…………… 27
- 平成23年度 加茂市表彰式 …… 89
- 加茂市教育委員会表彰式 …… 10
- 雪椿杯争奪バレーボール大会結果
第33回 雪椿マラソン結果…………… 10
- 市民大学講座 受講生募集…………… 11
- 加茂の風土記…………… 12

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう

第46回 雪椿まつり



左からミス雪椿・廣瀬祐子さん、ミス雪椿クイーン・大野裕美さん、ミス雪椿・柵橋笑里夏さん

今年の雪椿まつり大園遊会は、ユキツバキとサクラが咲きそろう中での開催となりました。大雪の影響で、加茂山公園内のところどころには、雪が残っていました。春を告げる雪椿まつりには大勢の皆様からおいでいただきました。

大園遊会、雪椿杯バレーボール大会、市民茶会は、昨年の東日本大震災の影響で、二年ぶりの開催となりました。この雪椿まつり期間中の催しには市民の皆様をはじめ、市外からも大勢の皆様から来ていただき、とてもにぎやかにおもてなしすることができました。

4月22日 大園遊会

当日の天気予報が雨ということ、市民体育館での開催でした。それでも、日中は曇り空が続き、加茂山公園や市民体育館には大勢の皆様から来ていただきました。ミス雪椿公開審査では、会場内の約千人から投票していただいた結果、ミス雪椿クイーンに大野裕美さん（新潟市）、ミス雪椿に廣瀬祐子さん（新潟市）と柵橋笑里夏さん（新潟市）が選ばれました。



雪椿まつり大園遊会のミス雪椿公開審査の会場



中川裕司 JR 東日本新潟支社
営業部販売課長(支社長代理)



網島知子新潟県観光振興課長
(新潟県知事代理)



菊田まきこ衆議院議員

三人には一年間、加茂市の観光PRやイベント・セレモニーで活躍していただきます。また、大園遊会オープニングでは、昨年、大園遊会がなかったため、二年間にわたりミス雪椿として活躍していただいた田島冬子さん、幸田江利子さん、捧千晶さんに会場の子供たちから活躍への感謝を込めて花束が贈られました。

アトラクションになると、加茂松坂協会の「加茂松坂」、星の会の「佐渡の恋唄」、ザ・松坂と花友会による「加茂小唄」、秋扇会の「人生一度」などの唄と踊りが披露されました。

市内民踊団体の後は、歌手の菊地まどかさんの歌謡ショーで会場は一層にぎやかになりました。ステージから客席に降りて、会場の皆さんと握手を交わしながら歌う菊地まどかさんに大きな拍手が会場内に広がりました。

続いて、友好都市東京都大島町の皆さんとの交歓会が行われ、今回、大島町長として初めておいでになられた川島理史(かわしままさふみ)町長と小池清彦加茂市長が記念品を交換し、固い握手を交わしました。記念品は、大島町か



ミス大島の松木愛菜さん



握手する小池清彦加茂市長と川島理史大島町長



勇壮な御神火太鼓



大島町婦人会による「人恋椿」と「大島節」



客席で握手をしながら歌う菊地まどかさん



ゲスト歌手の菊地まどかさん



星の会による「佐渡の恋唄」



アトラクションの加茂松坂協会

ら椿の花焼の「大皿」が、加茂市からは「桐三段小箱」が贈られました。そして、大島町婦人会の皆さんによる「人恋椿」の踊りと勇壮な御神火太鼓が披露されるとともに、ますます交流が広がるようにというメッセージが伝わってきました。

市中パレード
 市民体育館でミス雪椿クイーン、ミス雪椿が発表された後、JR加茂駅前からパレードが発行しました。新しいミス雪椿クイーンの大野裕美さんとミス雪椿の廣瀬祐子さんと棚橋笑里夏さん、そしてミス大島の松木愛菜さんは、新発田駐屯地・第三十普通科連隊のジープに乗って、沿道からの声援に笑顔で応えていました。

パレードには、県警音楽隊とカラーガード、ボーイスカウト、ガールスカウト、交通安全協会、交通安全母の会、BRASS1、大島町の皆さんと御神火太鼓、自衛隊音楽隊、少年消防クラブ、本量寺保育園・須田保育園の幼年消防クラブの園児たちが参加しました。



秋扇会による「人生一度」



ザ・松坂と花友会による「加茂小唄」



ミス雪椿の廣瀬さん（左）と棚橋（右）さん



ミス大島・松木さんとミス雪椿クイーンの大野さん

トレジャーハンティング
 今年は、カモンinjaに続く
 新たなヒーロー、小京都戦隊（ふるさとせんたい）カモンinja椿
 が登場。野外ステージからもみじ
 谷、御神苑など加茂山公園を舞台
 に、五つの修行ステージをクリア
 するゲームに約千人が挑戦し、特
 製カードを手にしていました。

15日 雪椿杯バレーボール大会
 新発田・新潟・三条・燕・見
 附・加茂の六市から出場した十五
 チームで優勝めざした戦いが行わ
 れました。優勝は、豊浦JV（新
 発田市）で、準優勝は三条市の秋
 桜VCでした。開会式には、出場
 全チームにユキツバキの苗木と加
 茂の特産品が贈られました。

雪椿マラソン
 市中パレード出発前の午後二時
 三十分にJR加茂駅前をスタート
 しました。10kmコースの七谷大橋
 までの間を折り返す3km、5km、
 10kmの三コース・十部門に百七十
 七名が出場しました。ゴールは陸
 上競技場で、出場者には、県内各
 地や県外からの参加もありました。



交通安全母の会の皆さん



県警音楽隊とカラーガード



ブラスワン
BRASS1



交通安全をPRするボーイスカウトとガール
スカウトと交通安全協会の皆さん



自衛隊のジープでパレードするミス雪椿



自衛隊音楽隊



少年消防クラブの鼓笛隊



大島町の皆さんもパレードに参加



本量寺保育園幼年消防クラブ

29日 市民茶会
 初夏を思わせる日差しの中、杉木立での野点、青海神社拝殿と貴賓室の三席がひらかれました。ミス雪椿クイーンの大野裕美さん、ミス雪椿の廣瀬祐子さんと棚橋笑里夏さんは各茶席を訪れ、加茂市のPRや記念写真の撮影など、ミス雪椿の初仕事となりました。



パレード出発前にスタートした雪椿マラソン



須田保育園幼年消防クラブ



青海神社拝殿の茶席



市民茶会 杉木立での野点



トレジャーハンティングにはカモンジャが登場



青海神社貴賓室での茶席



トレジャーハンティングのゲームステージ



バレーボール大会に県内15チームが出場



トレジャーハンティングに子供たちが活躍



優勝は豊浦J.V (新発田市)



平成23年度 加茂市表彰式



加茂市発展の功労・功績に感謝

平成二十三年度の加茂市表彰式が三月二十八日、文化会館で行われました。

表彰を受けられた方は三十九名で、いずれも各分野での功労・功績をたたえてのものです。

表彰された方は、次のとおりです。（敬称略）

業務精励

茂野榮一 五十五年以上にわたり
箆筒職人として精励。後進の指導・育成と伝統工芸の継承に尽力。

青海町一

栢森 博 五十九年にわたり
建築塗装工として精励。後進の指導・育成に尽力。幸町一

教育文化功労

川口タカ 社会教育委員として十

五年以上。神明町一

大森馨子 公民館運営審議会委員

として十五年以上。五番町

浅見 睦 公民館運営審議会委員

として十五年以上。栄町

永井則夫 尺八奏者・指導者とし

て、伝統文化の保存・継承に尽力。

幸町一

真柄静夫 岡ノ町神楽連中として、

加茂市表彰式



長年にわたり神楽舞の保存・継承に尽力。寿町

島田正作 岡ノ町神楽連中として、
長年にわたり神楽舞の保存・継承に尽力。寿町

体育功労

浅野恵未 第六十六回国民体育大会水泳競技大会において、少年女子B百m平泳ぎで上位入賞。神明町二

保健衛生功労

佐藤忠司 献血五十回以上。横江
清水康雅 献血五十回以上。五番

町

西村広栄 献血五十回以上。前須田

野田眞理子 学校歯科医として二十年以上。幸町一

社会福祉功勞

吉川ミナ子 保護司として十二年以上。旭町

土地改良功勞

宮口音治 三条土地改良区役員として二十年以上。天神林

消防功勞

西潟武夫 消防団員として三十年以上。黒水西
佐野勝志 消防団員として三十年以上。黒水東



市行政功勞

志田正栄 第一区区长として十年以上。第一区

風間敏夫 大郷町区长として十年以上。大郷町二

廣野豊作 国民健康保険運営協議会委員として十五年以上。若宮町一

交通安全功勞

福島俊弘 十三年以上にわたり、小乙地区で児童生徒の登校安全・交通事故防止に寄与。小乙

特別表彰

自治興隆

樋口博務 市議会議員として二十年以上。後須田第三

安武秀敏 市議会議員として二十年以上。幸町二

古川良二 固定資産評価審査委員会委員として二十年以上。青海町二

三浦伸一 教育委員会委員として十五年以上。五番町

永井榮子 教育委員会委員として十五年以上。栄町



謝辞を述べる伊藤武之さん

体育功勞

泉田隼希 二〇一一年度全日本ジュニアレスリング選手権大会において男子カデットの部グレコローマンスタイル54kg級で優勝。都ヶ丘

保健衛生功勞

関根拓也 献血二百五十回以上。八幡三

野口 誠 献血百五十回以上。高須町一

西潟 隆 献血百回以上。芝野関 直明 献血百回以上。上町

社会福祉功勞

長谷川昭一 保護司として二十年以上。中大谷

産業振興功勞

渡邊文彦 第四十五回全国建具展示会において組子建具「湧雲」が厚生労働大臣賞を受賞。寿町

市行政功勞

中山 勇 新栄町区长として二十年以上。新栄町

教育文化功勞

永井尚文 農業委員会委員として十五年以上。天神林
中野正榮 農業委員会委員として十五年以上。岩野
伊藤武之 選挙管理委員会委員として十五年以上。若宮町一
涌井タヅ子 選挙管理委員会委員として十五年以上。小橋一

小林 均 前田流平家琵琶(平曲)の奏者・指導者として長年にわたる活躍(加茂市指定文化財)。また、能楽の宝生流葵宝会代表として伝統芸能の振興・継承に尽力。穀町

平成二十三年度 加茂市教育委員会 表彰式

表彰式

加茂市において、教育文化の発展・振興に寄与された方が表彰されました。

表彰されたのは、教育分野で尽力されている方、体育分野で優秀な成績を納められた方です。また、児童教育の発展に寄与されている



方に感謝状が贈られました。表彰された皆さんは次のとおりです。
(敬称略)

教育文化功労

押見榮喜 文化会館運営審議会委員として十年以上。岡ノ町
外石榮子 公民館運営審議会委員として十年以上。陣ヶ峰

服部宗和 心身障害児就学指導委員として十年以上。松坂町
荒井誠治 日本ボイスカウト加茂第一団指導者として十五年以上。中村

体育功労

土田尚人 平成二十三年第六十六回国民体育大会レスリング競技・成年グレコローマン六〇kg級上位入賞。幸町一
浅野恵未 平成二十三年第六十六回国民体育大会競泳・少年女子B百m平泳ぎ上位入賞。神明町二

感謝状贈呈

教育文化功労

金澤朝子 長年にわたり児童への読み聞かせなどをおして読書活動に尽力。高須町二

雪椿杯争奪 加茂市近郷 家庭婦人バレーボール大会

期日 四月十五日
会場 勤労者体育センター
参加 十五チーム
優勝 豊浦JV(新発田市)
準優勝 秋桜VC(三条市)
3位 ほないクラブ(三条市)
MMJ(三条市)

〔個人賞〕

最優秀賞 斉藤奈穂(豊浦JV)
優秀賞 坂井由香(ほないクラブ)
敢闘賞 伊藤あゆみ(豊浦JV)
金子純子(秋桜VC)
田辺ひろ子(ほないクラブ)
水野裕美子(MMJ)

第33回雪椿マラソン大会

期日 四月二十二日 午後二時三十分JR加茂駅前スタート
出場・完走選手 百七十七人
〔3kmコース・駅前〜駒岡橋〜陸上競技場〕▼小学校男子三・四年生の部①星晴文・最優秀選手賞(新飯田小)②高橋慶(加茂Jr陸上・石川小)③岩尾大地(五泉少年マラソンクラブ)▼小学校女子三・四年生の部①小林遙・最優秀選手賞(加茂西

小)②土橋輝(加茂Jr陸上・羽生田小)③板谷実咲(五泉少年マラソンクラブ)▼小学校男子五・六年生の部①阿部爽真(五泉少年マラソンクラブ)②岩尾太陽(五泉少年マラソンクラブ)③渡辺光稀(五泉少年マラソンクラブ)▼小学校女子五・六年生の部①伊藤柚葉(五泉少年マラソンクラブ)②板谷瞳(五泉少年マラソンクラブ)③萬羽美月(五泉少年マラソンクラブ)▼中学生女子の部①田沢桃香(小須戸中)②齊藤朱莉(小須戸中)③五十田楓(小須戸中)▼一般・高校女子の部①波塚美奈子(田上小教)②五十嵐真喜子(ガスト加茂店)③皆川敬子

〔5kmコース・駅前〜小貫橋〜陸上競技場〕▼中学校男子の部①真保琢海(田上中)②梅田太成(七谷中)③江平翼(葵中)▼一般・高校男子の部①張戸隆行(見附陸協)②本山創(紅い絆)③皆川雄一▼壮年(40歳以上)の部①阿部一彦(紅い絆)②高井滋(ハート)③藤田久尚(やまさく&書刃堂)
〔10kmコース・駅前〜七谷大橋〜陸上競技場〕▼一般・高校男子の部①塚野優樹(新津高校)②吉田翔(加茂陸協)③亀井大善(紅い絆)

市民大学講座受講生募集

回	月 日	主 題 (テーマ)	講 師
1 ※	5月28日(月)	開校式 健康で生きるための生活と食生活	新潟大学大学院教授 <small>あほ とおる</small> 安保 徹さん
2	6月4日(月)	聯合艦隊 山本五十六	河合継之助記念館館長 <small>いながわあき お</small> 稲川明雄さん
3	6月11日(月)	仏像・神像 文化財の保存・修復	仏像文化財修復工房 <small>まつおかせいいち</small> 松岡誠一さん
4 ※	6月18日(月)	地震災害の検証と課題	新潟大学准教授 <small>うらべあつし</small> 卜部厚志さん
5	6月25日(月)	地域の絆づくり～無縁社会ニッポン 今、地域で何が起きているのか～	新潟医療福祉大学講師 <small>あおき しげる</small> 青木 茂さん
6	7月2日(月)	新潟の妖怪伝説	新潟民俗学会理事 <small>たかはしふみまる</small> 高橋郁丸さん
7	7月9日(月)	江戸しぐさに学ぶ	新潟江戸しぐさ研究会代表 <small>しばたみつえ</small> 柴田光荣さん
8 ※	7月16日(月・祝)	人権講演会 夢と絆を求めて～翻弄 された運命のなかで	新潟産業大学専任講師 <small>はすいけ かおる</small> 蓮池 薫さん

※印は手話通訳があります。

市民大学講座は、どなたでも受講できますので、お気軽にお申し込みください。

会 場 文化会館小ホールほか

時 間 午後7時から9時（最終回は午後2時からです）

受 講 料 無 料

そ の 他 最終日（7月16日）の閉講式後に修了パーティー（会費 4千円）
があります。

※第1回、4回、8回には手話通訳があります。

お問い合わせ 公民館（☎52-1953）

峠を越えた加茂の女性たち

（八十里越叶津番所日記から）

かのうづばんしよ

平成二十年八月号に、八十里越を

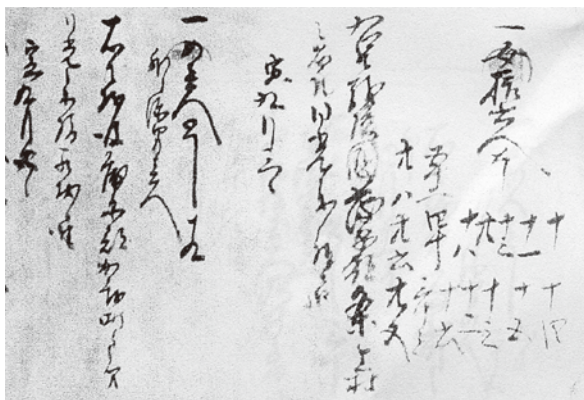
越えた女性を記したが、続いてこの記録をみたい。八十里越を越えた叶津（福島県只見町）の番所に残る「往来日記」に、嘉永元年（一八四八）から安政二年（一八五五）の八年間に通行した主に婦女子の通行が書き留められている。全部で三百五十三グループ、千四人が通行しており、その九割以上が婦女子であった。越後からの行く先はほとんどが「日光参詣」となっている。

この記録は特に婦女子の峠越えが多かったため特別に書き留めたものか、八年分が一冊に綴じられているだけに何かの目的があったとも考えられる。

加茂の風土記

女性たちの出発地をみると三条、下田、燕、寺泊、長岡など越後の中部一帯の村々であった。そのなかで加茂町や加茂近在からの数を見る

と、四十四グループ、百三十三人の婦女子である。三例が福島の南、二本松や下野の佐野へ行くほかは、日光参詣が旅の目的であった。加茂分の十三例には、一ないし二人の付添いの男性もいた。旅荷を運ぶための男とみられる。旅のグループの人数は平均三人である。なかには十一歳の少女の一人旅もあり、通行した年



右は上条村女一六人、左は十九歳女性と添男一人の加茂町の事例。年齢と人数、出発地、行き先が書かれている。

齢は十〜二十代の若い女性たちで、まれに五十〜七十代の女性も加わっていた。加茂以外の巻村（新潟市西蒲区）からの二十二歳の女性の場合、数え年二歳の乳幼児を連れての旅であった。

記録された中で一番人数が多い事例は、安政元年の上条村のグループである。最年少十歳から十代、二十代、四十代を含めて最高齢が五十二歳の十六人であった。

八十里越はこの約十年前の天保十四年（一八四三）に改修され通りやすくなったとはいえ、なぜこれだけ多くの婦女子がこぞって「日光参詣」をしたのか。由緒ある神社参詣の旅が一人前の女性への一つの通過儀礼であったとみると、大きな意味を持つ。それは蒲原一帯や中越後にその風習があったことを物語るが、村々に残る史料からはまだ補完する例は見当たらない。

数え年二歳の幼児を抱いた女性や、ほぼ初老の女性が険しい峠道を越えたパワーに驚く。同じ頃あるいは明治初期にかけて、加茂で織った「加茂縮」が商人によって会津只見地方に運ばれた。同じ峠道を女性たちは違う意味の日光参詣の旅で通行していった。

（関 正平）

表紙のもう一コマ

春の加茂川の風物詩となったコイノボリ。今年は四月十三日に五百匹が取り付けられました。



社会福祉費寄付金

▼越後蒲原ふるさと座・加茂ライオンズクラブから 三万円

人口のうごき

4月1日現在
世帯 10,205 (+6)
人口 30,155 (-46)
男 14,560 (-27)
女 15,595 (-19)
()内は前月比
(3月異動分)
出生 15 (男8女7)
死亡 33 (男14女19)
転出 119 転入 91